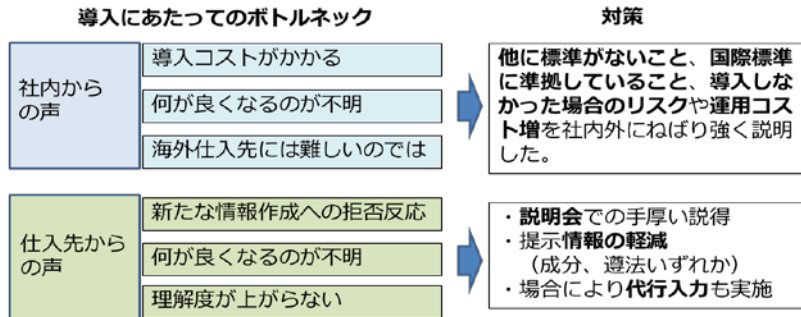


chemSHERPA 導入メリットアンケートの結果報告

2018年7月にJAMP委員会メンバーへ調査したchemSHERPA導入メリットアンケートの結果(サマリ)をご報告します。(回答22名)

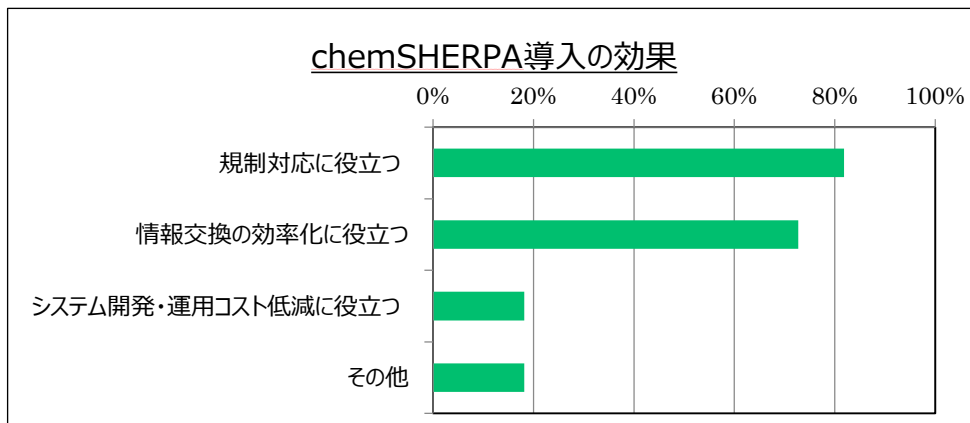
①chemSHERPA 導入時のボトルネックと対策について

各社ともに、既存の標準フォーマットが切り替わることを粘り強く説明・説得を行うことで、社内外に理解をしてもらい、導入にこぎつけています。



②chemSHRRPA 導入メリットについて

規制対応と情報交換の効率化のために、chemSHERPAを使う、という声が大半。標準フォーマットを使うことで、システム開発コストが低減できるという声もあります。



③導入後の課題

海外普及を課題と捉える企業が多い。他にはツール・マニュアルの改善、遵法判断情報への物質追加、規制追加など。ヘルプデスクやITツールの紹介などJAMP支援を望むものや、業界拡大や海外ツールとの整合など、適用範囲を広げる要望もあります。

<主な自由記述内容>

①海外普及の促進、認知度向上、教育推進	6名
②ツール、マニュアルの改善	2名
③電機以外の業界への拡大	2名
④法規制物質アップデートの短縮化	2名
⑤遵法判断情報への物質追加	1名
⑥中小企業へのITツール紹介	1名
⑦国際標準への準拠性、海外ツールとの連携	1名
⑧サポート、ヘルプデスクの充実	1名